



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 澁澤倉庫株式会社

コード番号 9304 URL <http://www.shibusawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 笠原 伸次

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長

(氏名) 星 正俊

TEL 03-5646-7235

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	27,353	△1.1	1,321	△17.9	1,138	△20.6	382	△56.3
24年3月期第2四半期	27,643	0.6	1,610	△1.4	1,434	△5.5	875	112.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 36百万円 (△92.3%) 24年3月期第2四半期 476百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	5.04	—
24年3月期第2四半期	11.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	86,276		32,329			36.7
24年3月期	84,817		32,564			37.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 31,657百万円 24年3月期 31,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	3.00	—	3.50	6.50
25年3月期	—	3.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	53,500	0.0	2,850	4.7	2,500	5.2	1,200	28.9	15.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものではありません。

詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	76,088,737 株	24年3月期	76,088,737 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	53,931 株	24年3月期	53,130 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	76,035,097 株	24年3月期2Q	76,037,530 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 平成 25 年 3 月期の個別業績予想 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,800	0.9	2,530	0.1	2,240	0.5	950	△16.6	12.49

(注) 1. 直近に公表されている個別業績予想からの修正の有無 : 有

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需を中心に持ち直しの動きが見られたものの、長引く円高や欧州債務危機問題、新興国の成長に陰りがみられるなど景気の先行きは不透明な状態で推移いたしました。

このような経済情勢にあって、物流業界では輸出貨物は減少傾向が継続し、消費財を中心に増加傾向にあった輸入貨物や堅調に推移していた国内貨物も減少傾向に転じました。不動産賃貸業界においても都市部のオフィスビルの空室率は減少したものの、賃料相場は弱含みで推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、中期経営計画「SUCCESS 2012」の事業戦略に沿った営業活動を積極的に展開いたしました。物流事業においては、一般消費財を中心とした国内輸配送業務や流通加工業務の拡販を行ったほか、海外現地法人においては営業力の強化を進めてまいりました。また、不動産事業においては、既存施設の計画的な保守、改良工事を実施し、現有資産の付加価値向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は、不動産事業および国内物流業務が増収となったものの、震災対応の緊急輸送需要の終息による輸入航空貨物の取扱い減少や海外経済の減速による輸出貨物の取扱い減少により、前年同期比2億9千万円(1.1%)減の273億5千3百万円となりました。営業利益は、物流事業における収益減に伴う利益の減少と固定資産取得に伴う一時費用の発生により、同2億8千8百万円(17.9%)減の13億2千1百万円となりました。経常利益は、資金調達費用は減少したものの、営業利益の減少により、同2億9千5百万円(20.6%)減の11億3千8百万円となりました。また、四半期純利益は、投資有価証券評価損を特別損失として計上したことにより、同4億9千2百万円(56.3%)減の3億8千2百万円となりました。

当社グループのセグメントの概況は、次のとおりであります。

① 物流事業

倉庫業務は、荷役料収入は前年同期並みに推移したものの、保管料収入が増加し、営業収益は前年同期比6千3百万円(1.4%)増の46億7千8百万円となりました。

港湾運送業務は、輸入貨物の取扱いは増加したものの、在来船貨物に係る船内荷役業務などの輸出貨物の取扱いが減少したことにより、営業収益は同3千万円(1.1%)減の27億2千8百万円となりました。

陸上運送業務は、震災対応に伴う長距離輸送の取扱いが減少した一方、一般消費財の輸配送業務や流通加工業務の取扱いが増加し、営業収益は同1千7百万円(0.1%)増の139億6千4百万円となりました。

国際輸送業務は、航空貨物の緊急輸送の取扱いが大幅に減少したうえに、海上貨物の取扱いも減少に転じ、営業収益は同2億3千7百万円(11.2%)減の18億8千4百万円となりました。

この結果、**物流事業全体**の営業収益は前年同期比2億2千7百万円(0.9%)減の239億7千8百万円となりました。営業費用は前年同期並みの232億3千7百万円となりました。以上により、営業利益は、前年同期比2億7百万円(21.9%)減の7億4千万円となりました。

② 不動産事業

平成24年2月竣工の賃貸用寄宿舎「ドリーミー三宮」が寄与したことやビルメンテナンスなどの管理料収入が増加したことにより、営業収益は前年同期比5千8百万円(1.7%)増の34億3千8百万円となりました。営業費用は、固定資産取得に伴う一時費用が増加し、同2億1千3百万円(11.6%)増となりました。以上により、営業利益は、前年同期比1億5千4百万円(10.1%)減の13億8千万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券の時価評価による減少があったものの、有形固定資産の取得により、前連結会計年度末に比べ14億5千8百万円増加し、862億7千6百万円となりました。

負債につきましては、長期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ16億9千3百万円増加し、539億4千6百万円となりました。

また、純資産につきましては、四半期純利益の計上があったものの、配当金の支払やその他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ2億3千5百万円減少し、323億2千9百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より0.9ポイント減少し、36.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動および財務活動によるキャッシュ・フローの増加がありましたが、投資活動によるキャッシュ・フローの減少により、前連結会計年度に比べ全体で22億2千3百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、63億2千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加等があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費による資金留保等により20億2千万円の増加(前年同四半期比10億6千7百万円の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等があったため、64億1千4百万円の減少(前年同四半期比18億2千3百万円の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の約定返済および配当金の支払いがあったものの、長期借入れによる収入があったため、21億6千7百万円の増加(前年同四半期比19億2千6百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、世界経済の減速、円高が継続していることを考慮すると、依然として厳しい状況が続くものと思われまます。当社におきましても、物流事業では輸出入貨物の荷動きの回復が見込まれず、引き続き厳しい事業環境が予測されます。

通期の連結業績予想につきましては、営業収益は当第2四半期連結累計期間において輸出入貨物を中心に取扱いが減少していることなどにより従来予想を下回る見通しとなり、営業利益および経常利益については下半期において不動産事業での利益増が寄与することから概ね予想数値通りと見込んでおります。また、当期純利益については、投資有価証券評価損を特別損失に計上したことにより、平成24年5月11日に発表した予想数値を次のとおり修正いたしました。

なお、四半期における投資有価証券の評価方法につきましては、洗い替え方式を採用しております。

通期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	54,200	2,850	2,500	1,450	19.07
今回修正予想(B)	53,500	2,850	2,500	1,200	15.78
増減額(B-A)	△700	0	0	△250	—
増減率(%)	△1.3	0.0	0.0	△17.2	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	53,496	2,722	2,377	930	12.24

(参考)

通期の個別業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,400	2,530	2,240	1,360	17.89
今回修正予想(B)	46,800	2,530	2,240	950	12.49
増減額(B-A)	△600	0	0	△410	—
増減率(%)	△1.3	0.0	0.0	△30.1	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	46,402	2,526	2,229	1,139	14.98

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,565	5,651
受取手形及び取引先未収金	9,459	9,938
有価証券	4,403	2,101
その他	2,277	2,037
貸倒引当金	△20	△15
流動資産合計	21,685	19,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,138	31,742
土地	18,870	22,592
その他(純額)	1,529	1,476
有形固定資産合計	51,538	55,811
無形固定資産		
投資その他の資産	727	798
投資有価証券	8,455	7,484
その他	2,452	2,513
貸倒引当金	△53	△52
投資その他の資産合計	10,853	9,945
固定資産合計	63,120	66,555
繰延資産	12	7
資産合計	84,817	86,276

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,347	4,149
1年内償還予定の社債	—	7,000
短期借入金	6,188	6,479
未払法人税等	71	306
引当金	558	536
その他	2,548	1,778
流動負債合計	13,713	20,250
固定負債		
社債	7,000	—
長期借入金	24,185	26,354
長期預り金	5,090	5,061
退職給付引当金	2,077	2,110
その他	185	169
固定負債合計	38,539	33,696
負債合計	52,253	53,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	5,663	5,663
利益剰余金	18,016	18,130
自己株式	△19	△19
株主資本合計	31,507	31,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,094	708
為替換算調整勘定	△698	△673
その他の包括利益累計額合計	396	34
少数株主持分	661	672
純資産合計	32,564	32,329
負債純資産合計	84,817	86,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業収益		
倉庫保管料	2,469	2,540
倉庫荷役料	2,145	2,138
荷捌料	5,120	4,825
陸上運送料	13,940	13,960
物流施設賃貸料	435	416
不動産賃貸料	3,319	3,379
その他	212	93
営業収益合計	27,643	27,353
営業原価		
作業費	17,693	17,646
賃借料	1,117	1,171
人件費	1,641	1,551
減価償却費	1,258	1,189
その他	2,771	2,922
営業原価合計	24,482	24,481
営業総利益	3,161	2,871
販売費及び一般管理費	1,550	1,550
営業利益	1,610	1,321
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	133	116
その他	101	75
営業外収益合計	245	203
営業外費用		
支払利息	289	274
その他	132	111
営業外費用合計	421	385
経常利益	1,434	1,138
特別利益		
債務免除益	115	—
特別利益合計	115	—
特別損失		
投資有価証券評価損	19	426
固定資産処分損	85	—
特別損失合計	105	426
税金等調整前四半期純利益	1,444	712
法人税等	548	316
少数株主損益調整前四半期純利益	896	395
少数株主利益	20	12
四半期純利益	875	382

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	896	395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△406	△390
為替換算調整勘定	△12	31
その他の包括利益合計	△419	△358
四半期包括利益	476	36
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	460	21
少数株主に係る四半期包括利益	16	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,444	712
減価償却費	1,320	1,259
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9	△6
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	15	△32
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	15	33
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△122	—
受取利息及び受取配当金	△143	△127
支払利息	289	274
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	19	426
固定資産売却損益 (△は益)	△4	△6
固定資産除却損	38	22
売上債権の増減額 (△は増加)	△454	△477
仕入債務の増減額 (△は減少)	△47	△198
その他	△982	153
小計	1,396	2,032
利息及び配当金の受取額	139	123
利息の支払額	△285	△278
法人税等の支払額	△298	△77
法人税等の還付額	—	221
営業活動によるキャッシュ・フロー	953	2,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△678	△651
定期預金の払戻による収入	700	668
有形固定資産の取得による支出	△1,889	△6,330
有形固定資産の売却による収入	243	50
無形固定資産の取得による支出	△36	△105
投資有価証券の取得による支出	△217	△10
投資有価証券の売却及び償還による収入	18	—
貸付けによる支出	△44	△44
貸付金の回収による収入	35	8
事業整理による支出	△2,722	—
その他	△1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,590	△6,414
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	0	5
長期借入れによる収入	9,031	4,214
長期借入金の返済による支出	△4,684	△1,760
配当金の支払額	△229	△265
少数株主への配当金の支払額	△0	△2
リース債務の返済による支出	△21	△23
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,094	2,167
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	446	△2,223
現金及び現金同等物の期首残高	8,234	8,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,681	6,323

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流事業	不動産事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する営業収益	24,200	3,319	27,519	124	27,643	—	27,643
セグメント間の内部営業収益又は振替高	5	59	65	0	65	(65)	—
計	24,205	3,379	27,585	124	27,709	(65)	27,643
セグメント利益又は損失(△)	948	1,535	2,483	△21	2,461	(851)	1,610

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場運営の業務であります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△851百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、ゴルフ場運営の事業を分離したことにより、報告セグメントに含まれない「その他」の資産が1,195百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	23,974	3,379	27,353	—	27,353
セグメント間の内部営業収益又は振替高	4	58	63	(63)	—
計	23,978	3,438	27,416	(63)	27,353
セグメント利益	740	1,380	2,121	(799)	1,321

(注1) セグメント利益の調整額△799百万円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(注3) 「その他」の事業を構成していたゴルフ場運営事業の整理が前連結会計年度において完了したことにより、当該区分は削除しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、賃貸用不動産物件を取得したことに伴い、不動産事業のセグメント資産が5,201百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。